

# WASEDA WEEKLY



2011 **7.21**  
号外

早稲田大学学生部

## 「東日本大震災に関する意識調査」集計結果報告

東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

早稲田大学では、このたびの未曾有の大震災に直面して学生諸君がどのように対応したのかについて、今後の大学の防災・減災の施策に反映させるためにアンケート調査を実施しました。同時に、学生諸君の防災意識の変化やボランティア等に対する意識についても調査しました。アンケートは学部学生43,257名を対象として、2,162名の諸君から回答を得ました（回答率5.0%）。ご協力頂きました学生諸君にお礼申し上げます。

震災直後から、学生諸君は漠然とした不安感を抱え、日程の変更が余儀なくされた震災後の授業や、就職活動あるいは課外活動への影響にも不安を感じていたことと思います。社会全体が大きな不安につつまれていた中で、出所が不明な不確実な情報が流布された事実もあるようです。しかし、本学の学生諸君は、早大生としての自覚と誇りを持って、それぞれの立場で、この困難な状況に立ち向かってくれたことと確信しています。

さらに、このような不透明な社会環境の中でも、多くの学生がボランティアに関心を持っており、500名を超える学生が実際にボランティアとして行動を起こしてくれたことに対して敬意を表したいと思います。

さて、この大震災は春休みの期間中に発生したため、地震発生時にキャンパス内にいた学生は多くはありませんでしたが、改善すべき防災上の気付きが明らかになりました。大学はこの震災を教訓にして、万一授業期間中に大きな災害が生じた場合であっても、被害を最小限に食い止めることができるよう、ハード・ソフトの両面から継続的な対策を講じてゆきます。

他方で、ひとりひとりの学生諸君が冷静に適切な行動を取れるよう普段から心構えをしておくことも、減災のために非常に重要であることは言うまでもありません。地震当日には交通機関が麻痺し、多くの方々の帰宅が困難になりました。帰宅経路や家族との連絡方法の確認、そして防災グッズの常備など、学生諸君自らが万が一に備えて対策を講じることをお願いします。

2011年7月21日 学生部長 笹倉 和幸

### 調査概要

- 調査期間：2011年5月23日（月）～6月5日（日）
- 調査方法：Waseda-net ポータルによる Web 調査（日本語調査票と英語調査票）  
無記名調査
- 調査対象者：学部学生 43,257 名（正規生の内、人間科学部 e-school 在籍生除く）
- 有効回答者数：2,162 名（日本語調査票回答者 2,122 名 英語調査票回答者 40 名）
- 有効回答率：5.0%
- 調査項目

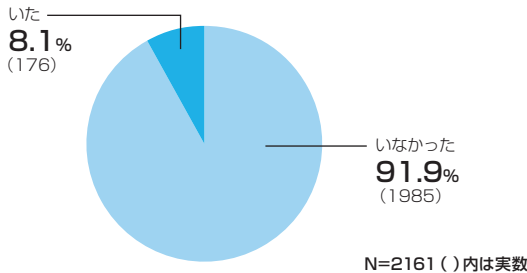
- 第1章：東日本大震災について
- 第2章：震災に対する備えについて
- 第3章：災害に関する心理について
- 第4章：東日本大震災に関するボランティア活動や節電について
- 第5章：その他

※表内 N は無回答・不明を除く実数。この報告書の単純集計およびクロス集計は、原則として無回答を除いて集計した数値。

## 1章：東日本大震災についてお尋ねします

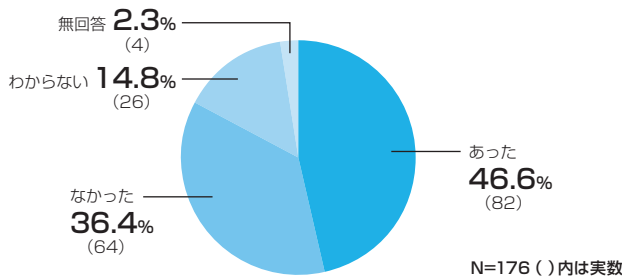
### 地震発生時どのキャンパスにいましたか？

(101) 地震が起こったとき早稲田大学のキャンパス  
(寮などの施設を含む)にいましたか？



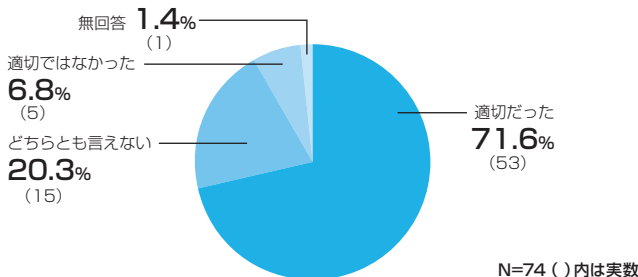
春休み期間であったことから地震発生時に大学にいた学生は、わずか8.1%でした。そのなかで33.5%の学生が学生会館にいました (P.7単純集計結果(104)参照)。学生の皆さんは指示に従って整然と近隣の戸山公園に避難し、他のキャンパス内でも混乱は生じませんでした。しかし、もし授業中に教室で大地震が発生した場合には指導教員の指示に従って、揺れが収まるまでは机などで落下物から身を守り、2次災害の恐れが無い場合には教室で待機してください。窓ガラスから離れること、ドアの近くの方はドアを開放して出口の確保に協力してください。その後は、構内一斉放送や直接誘導などの指示に従って落ち着いて行動してください。

(105) 101で「いた」と回答された方にお尋ねします。  
避難誘導(放送)はありましたか？



避難誘導については、「なかった」「わからない」の合計が51.2%となり、半数以上の学生が避難誘導を受けたり、放送を聞くことができなかったと答えています。

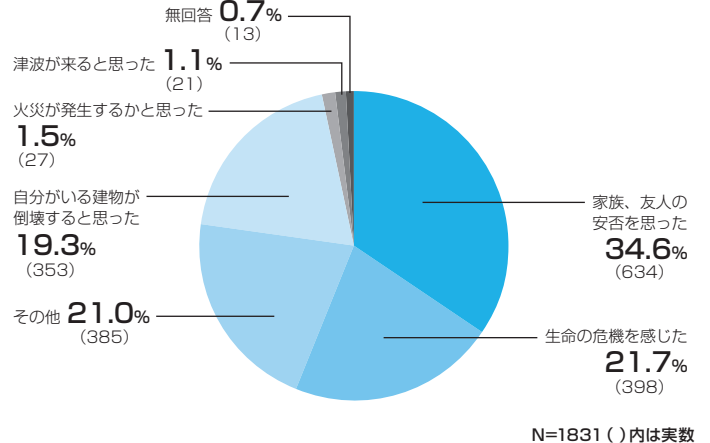
(107) 106震災当日は「どのように避難しましたか？」という設問で「係員の誘導に従った」と回答された方にお尋ねします。  
誘導は適切でしたか？



係員の誘導に従った学生のうち、71.6%が誘導は「適切だった」と回答しており、おおむね良好であったことがうかがえます。しかし、一方で、「適切でなかった」「どちらとも言えない」と回答した学生も27.1%おり、「適切でなかった」理由として、「避難経路が示されなかった／非常口の鍵が掛かったままだった／避難していない人があるにもかかわらず、非常扉が閉められていた」や「戸山公園に避難後、直ちに帰宅するように指示があった。しかしその時点で首都交通はすべて麻痺しており、帰宅を促すのではなく、一時避難所などの情報を提供すべきだったと思う」などのコメントが寄せられており、大学では事実確認や対策について検討を開始します。また、大学では、大地震マニュアルを作成し、学部事務所等で配布していますので、入手して携帯してください。

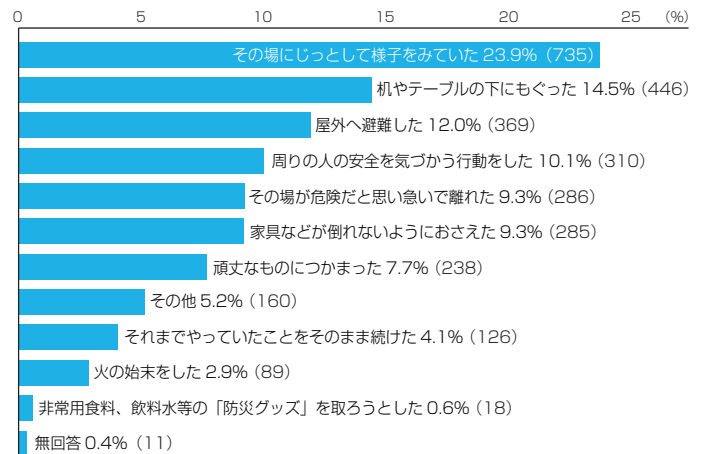
### 地震発生時どのようなことを考えましたか？

(111) 地震が起こった時に何を考えましたか？



地震が起こった時には、「自分がある建物が倒壊すると思った」が19.3%、「生命の危機を感じた」が21.7%であり、まずは自分の身の安全を確保したようです。同時に、「家族、友人の安否を思った」が34.6%もあり、特に身近な人物についての安否を気遣った学生も多いようです。まずは自分の身の安全を確保することが最も大切ですが、近くに負傷者や身体障がい者がいる場合には周囲の方のサポートをお願いします。

(112) 地震が起こった時にとっさに何をしましたか？(複数回答可)

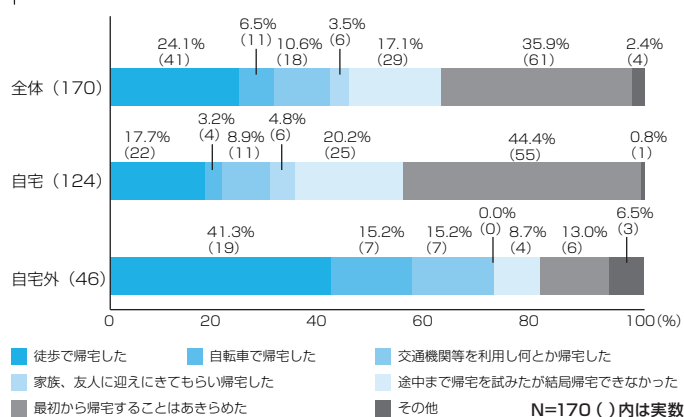
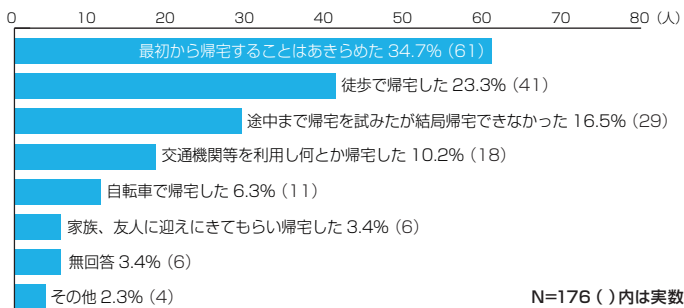


「その場にじっとして様子をみていた」が23.9%と最も多く、とっさの地震においてはすぐに行動することができないことがあるということがわかりました。とっさに行動するためには、頭で理解しているだけではなく、防災訓練などを通じて実際に行動を反復して行っておくことが大切です。大学では各キャンパス、各号館で定期的に防災訓練を行っています。大学や地域の防災訓練に積極的に参加したり、あるいは個人で災害を想定した訓練を行うことが必要です。

## 2章：震災に対する備えについてお尋ねします

### 震災当日の交通事情は？

(115・116) 地震発生時、早稲田大学の施設にいた人に質問です。  
地震の揺れがおさまった後、帰宅することはできましたか？  
(自宅・自宅外)

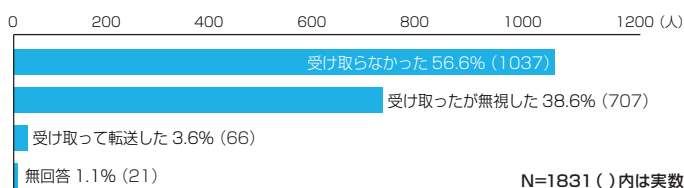


震災当日は全体でみると「最初から帰宅することはあきらめた」(34.7%)「途中まで帰宅を試みたが結局帰宅できなかった」(16.5%)と半数以上の人が帰宅することができなかったという結果となりました。自宅・自宅外の別で見た場合、最終的に帰宅できなかった人は自宅の場合で「最初から帰宅することはあきらめた」(44.4%)「途中まで帰宅を試みたが結局帰宅できなかった」(20.2%)、自宅外では「最初から帰宅することはあきらめた」(13.0%)「途中まで帰宅を試みたが結局帰宅できなかった」(8.7%)となっており大きな隔たりが見られました。

自宅外の学生は自宅の学生に比べ、近隣から通学することが多いため、帰宅できた割合が高かったようです。自宅から通学する場合は、その距離に応じてどのような行動をするかを考えておくことが重要です。徒歩で帰宅する際も、距離によっては帰宅経路や食料・飲料水の確保などクリアすべき課題も多いと思われます。本学の防災倉庫には、大きな震災が起きた際、主に学生や教職員を対象に配布できるように緊急用の毛布・非常食・飲料水が備蓄されています。(自宅外で帰宅できた人(71.7%)のうち「徒歩で帰宅した」人は41.3%。自宅の場合の17.7%と比べて2倍以上の開きがありました。)

### チェーンメールには要注意！

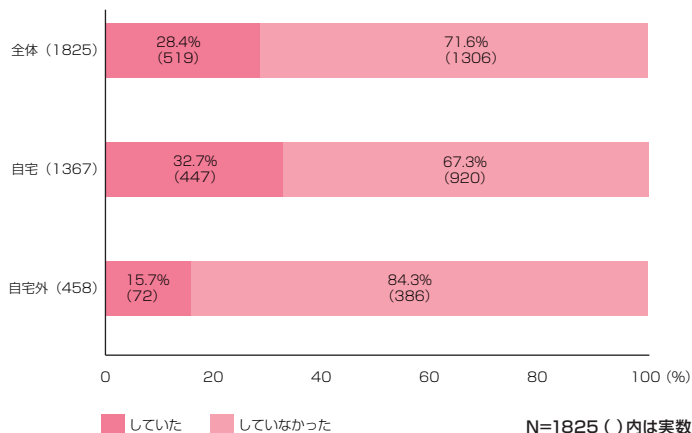
(120) 震災情報に関するチェーンメールを受け取りましたか？



震災情報に関するチェーンメールを受け取った(「受け取って転送した」(3.6%)「受け取ったが無視した」(38.6%))人は合計42.2%で、不特定多数を対象とした情報が流布されていたことが伺えます。チェーンメールに代表される真偽不明な情報はもし受け取ったとしても他人に転送すべきではありません。モバイルツールが普及しいつでもどこからでも情報の送受信ができる昨今、自身が入手した情報が正しいかどうかの見極めが大事です。

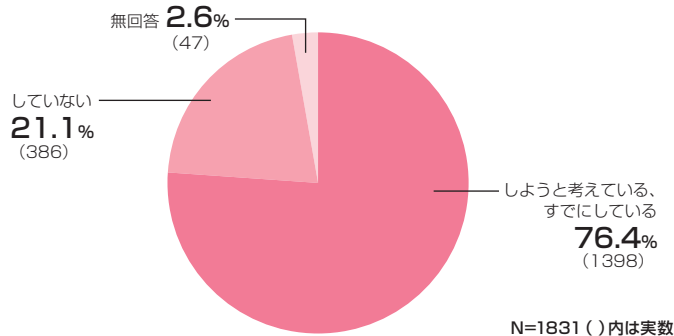
### 震災対策について

(201) このたびの東日本大震災が発生する前、震災対策として何か準備をしていましたか？(自宅・自宅外)

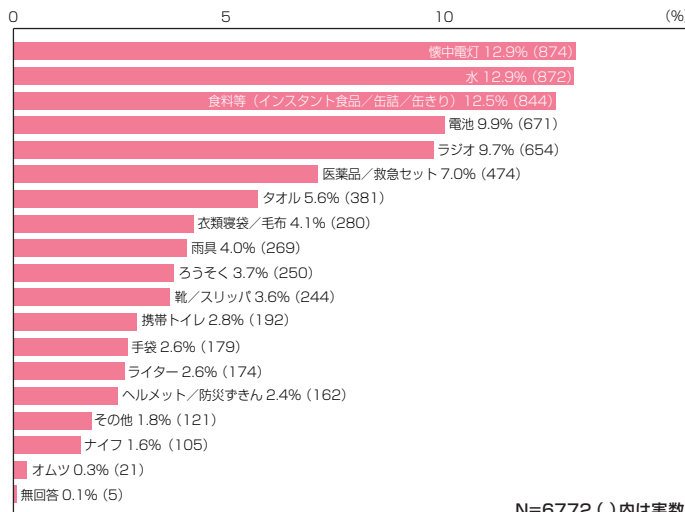


このたびの東日本大震災が発生する前、震災対策として何か準備を「していた」人は28.4%。自宅と自宅外で比較すると、自宅の場合「していた」のは32.7%、自宅外では15.7%と大きな隔たりがみられます。

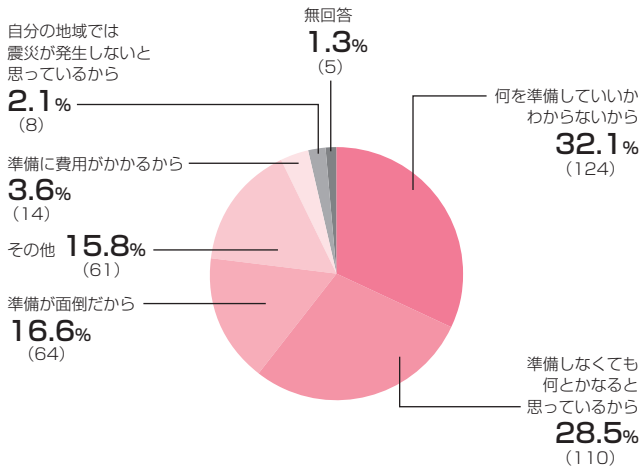
(203) このたびの東日本大震災を経験し、震災対策として何かしようと考えましたか、もしくは何かしましたか？



(205) 204「このたびの東日本大震災を経験し、震災対策として何をしようと考えましたか、もしくは何をしましたか？」という設問で「非常食、飲料水等の「防災グッズ」の準備」と答えた方にお尋ねします。「防災グッズ」として何を準備しようと考えていますか？(複数回答可)



(206) 203で「していない」と答えた方にお尋ねします。  
その理由は何ですか？



N=386 ( )内は実数

このたびの東日本大震災を経験し、震災対策として何か「しようと考えている、すでにしている」と答えた人は76.4%にのぼります。具体的には「避難場所の確認（早稲田大学付近および自宅周辺等）」16.6%、「家族との連絡方法および待ち合せ場所の確認」19.2%等ですが、最も高い割合（25.2%）だったのが「非常用食料、飲料水等の「防災グッズ」の準備」です。（P.8単純集計結果（204）参照）さらに準備しようと考えている防災グッズの内訳をみると、比較的高い割合は「懐中電灯」12.9%、「水」12.9%、「食料等（インスタント食品／缶詰／缶きり）」12.5%となっています。

今回の震災では量販店での物資不足や断水が起きただけでなく、史上例を見ない計画停電も実施されました。そのような経験を経て非常用の水や食料、明かりや情報源の確保等、今後起こりうる震災に対する防災意識の高まりがみとれます。

## 大地震対応マニュアルをご存知ですか？

また、震災対策として何らかの準備を「していない」と回答した方の理由は「何を準備していいかわからないから」が最も高い割合で32.1%です。大地震が起こった際の対応や備えについては、本学が発行している『大地震対応マニュアル』に詳細が掲載されています。本学環境安全管理課HP (<http://www.waseda.jp/ecocampus/index.html>)にてダウンロードできますので、お持ちでない方は内容を確認するようにしてください。

### 大地震対応マニュアル

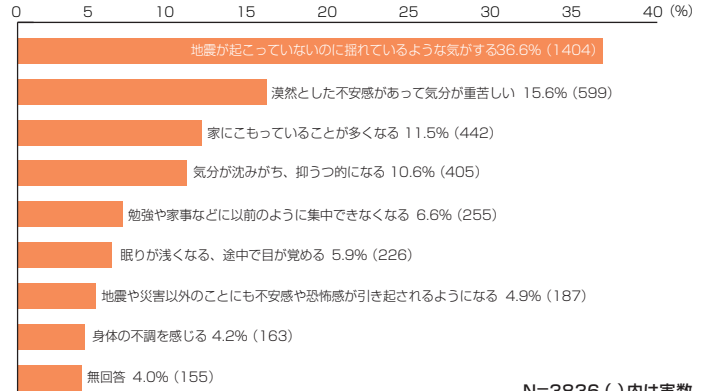
<http://www.waseda.jp/ecocampus/saf/index.html>



## 3章：災害に関する心理についてお尋ねします

### 東日本大震災を経て、心身に変化はあったでしょうか？

(303) 東日本大震災を経て、心身に変化はあったでしょうか？  
(複数回答可)

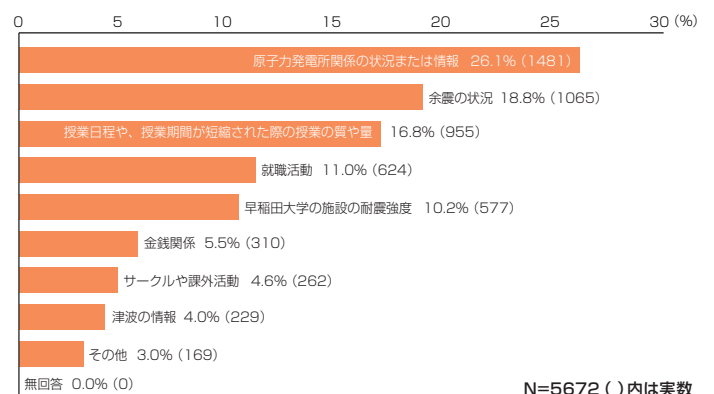


N=3836 ( )内は実数

東日本大震災を体験して、「気分が沈みがち、抑うつになる」と回答した人が10.6%、「漠然とした不安感があって気分が重苦しい」と回答した人が15.6%と、常に心理的に不安定な状態になっているとの回答が多数寄せられました。地震と津波そして原子力事故により、人的・物的に大きな被害を受け、そして今なおその影響を受け続けている現状を反映しています。さらに「勉強や家事などに以前のように集中できなくなる」と回答した件数が6.6%を占めるなど、修学上においても大きな影響を受けていることが明らかになっています。心理面のサポートについては、本学の保健センター（精神保健相談室・学生相談室）の利用をお勧めします。保健センターのホームページには、「災害時の『こころのケア』」が掲載されていますので、参照してください。

### 東日本大震災を経て、今不安に思うことは何ですか？

(304) 東日本大震災を経て、今不安に思うことは何ですか？  
(複数回答可)



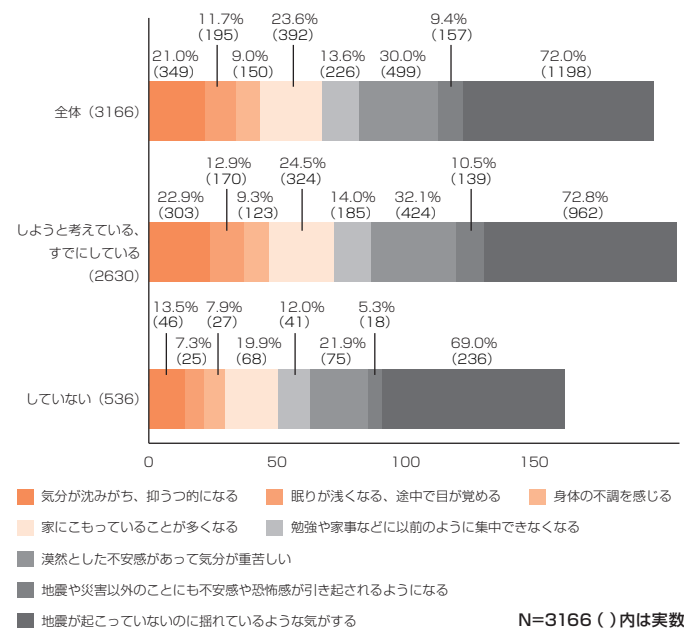
N=5672 ( )内は実数

東日本大震災を経て、「授業日程や、授業期間が短縮された際の授業の質や量」を選択した回答件数が16.8%で、修学上の不安を感じているという回答が多数寄せられました。こうした学生の声に応えるため、Course N@viの活用によるオンデマンド授業や補講の実施など、質の高い教育研究環境を維持しようとする試みが全学的に実施されました。また本学敷地内における大規模な建物損壊は発生しませんでした。早稲田大学の施設の耐震強度に不安を感じているとした回答が10.2%に上っています。本学の建物で地震に遭遇した場合、「構造上強度があること」「屋外では落下物の危険があること」など、火災等の二次災害の恐れがないという確認ができた時には、落下物等から身を守り教室にとどまってください。揺れが収まったその後は大学からの指示に従ってください。

# 東日本大震災を経て、心身に変化はあったでしょうか？

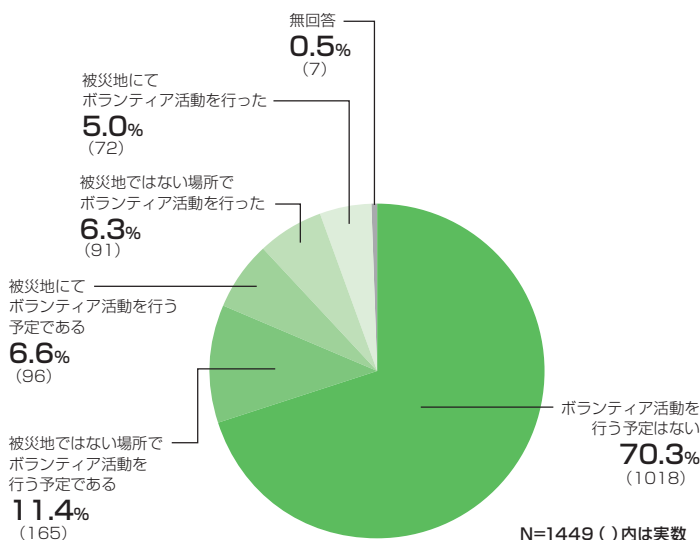
(303) 東日本大震災を経て、心身に変化はあったでしょうか？  
(複数回答可)

(203) このたびの東日本大震災を経験し、震災対策として何かしようと考えましたか、もしくは何かしましたか？



次に設問 (203) と (303) の設問のクロス集計を見てみましょう。設問203で震災対策を「しようとしている、すでにしている」との回答が76.4%、「していない」との回答が21.1%ありました。「漠然とした不安感があって息苦しい」と回答した割合は「しようとしている、すでにしている」と答えた学生では32.1%であるのに対し、「していない」と答えた学生では21.9%に留まるなど、今回の東日本大震災を受けて、心理的な不安を抱いた回答者が具体的な対応をしようとしていることが明らかになっています。

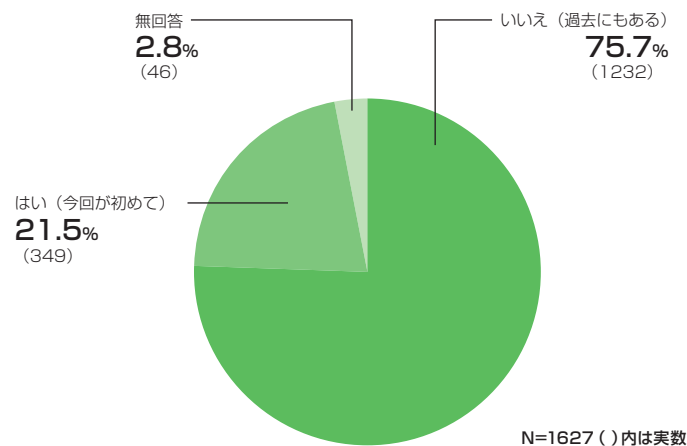
(402) 401で「ある」と答えた方にお尋ねします。東日本大震災に関するボランティア活動を行いましたか、もしくは今後行う予定はありますか？



401では東日本大震災に関連したボランティアに興味があると回答した学生が67.1%を占めるなど、多くの学生が社会貢献に対して高い関心を持っていることが分かります。

また402では「被災地にてボランティア活動を行った」と回答した件数が72件、「被災地ではない場所でボランティア活動を行った」と回答した件数が91件と、割合ではそれぞれ5.0%と6.3%を占めています。震災発生からまだ2か月も満たない期間に、回答者の10%以上が何らかの形ですでにボランティア活動を実施していることは、本学生が被災地でのボランティア活動に関心を持つだけでなく、具体的に行動に移し、復興支援に貢献しているという実態が明らかになっています。

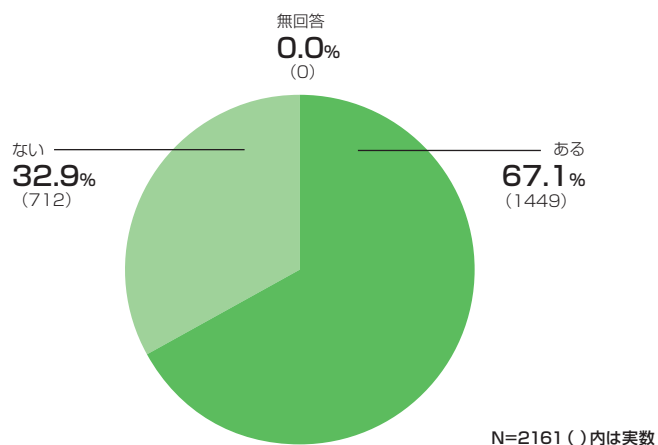
(405) 404「東日本大震災に関する募金についてお尋ねします。募金をしましたか？」で募金を「した」「する予定である」と答えた方にお尋ねします。募金は今回が初めてですか？



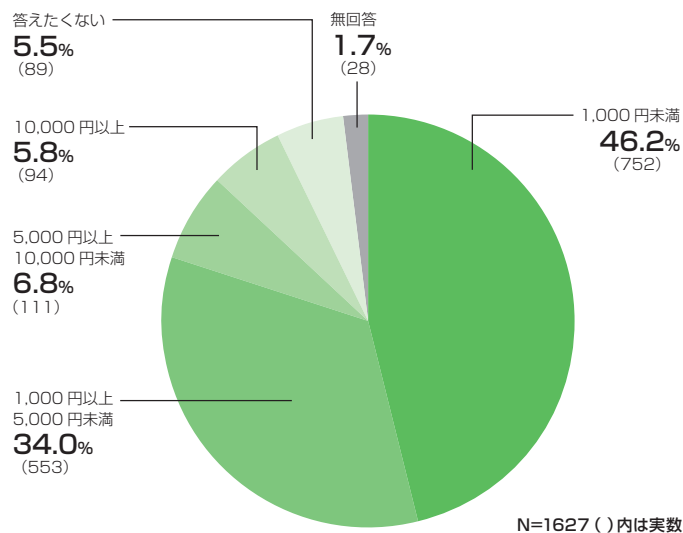
## 4章：東日本大震災に関するボランティア活動や節電についてお尋ねします

### 東日本大震災に関するボランティア活動に関心がありますか？

(401) 東日本大震災に関するボランティア活動に関心がありますか？



(406) 404で「した」「する予定である」と答えた方にお尋ねします。  
その金額はいくらぐらいですか？

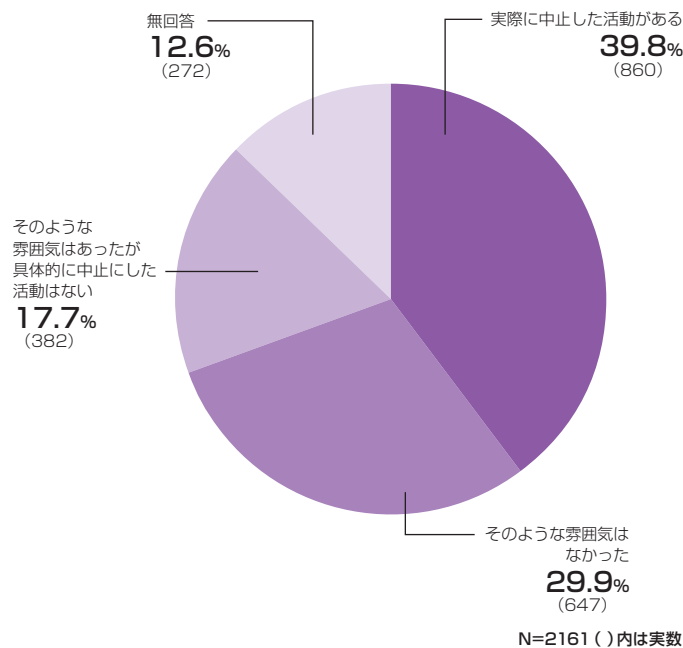


405で募金をしたと回答した件数が349件と21.5%を占め、全体の5分の1以上を占めています。406で募金額において、募金をしたと回答した学生の内、「1,000円未満」の回答に次ぎ、大きな割合を占める寄付金額が「1,000円以上5,000円未満」の категорияにおいて、件数553件と、全体の34%を占めています。本学において多数の学生が東日本大震災に関連して寄付をしている実態を伺い知ることができます。

## その他

### 課外活動やサークル活動で活動を自粛したイベントは？

(501) 課外活動やサークル活動で通常であれば行っている、もしくは行う予定の活動を自粛するような雰囲気はありましたか？



「実際に中止した活動がある」が39.8%と最も多く、春季休業期間中の課外活動においては中止した活動が多くあったようです。実際に中止した活動の回答例をあげると「春合宿」「練習」「大会」「演奏会」「卒業生の追いコン」「旅行」「新動活動」などがありました。

一方「そのような雰囲気はなかった」も29.9%と比較的多く、東日本大震災の発生後に、課外活動を続けていたサークルも多かったようです。

## 地震発生時の避難指示等、東日本大震災発生当日の大学の教職員の対応について

「具体的な避難指示がなく、現状の把握すらできなかった」「電車が動いていないのに「すぐ帰るように」と言われて困ってしまいました。大学内でどこか避難場所を作っていたのであれば、まずそのことを教えてもらいたかった」「避難指示の放送が聞きとれない」など、対応の問題点を指摘するものもありました。

なお、大地震の後には建物の安全性の確認が必要なため、避難場所の設定まで一定の時間がかかることがあります。そのような時間帯があることも理解いただき、冷静に対応するよう心がけてください。

一方で、「連絡を取り、被害状況と安否確認が適切に行われていた」「的確な指示をくれる人が居て非常に助かりました。そのおかげで冷静に正しい行動を取ることができました」「メールでの連絡が迅速であり、行動に困らずに済んだ。また授業開始時期に関しても、他大学よりも早く連絡が行われていて、非常にいい対応だったと感じている」などのコメントも寄せられています。

## 東日本大震災を経て早大生として何かすべきだと考えていますか？

「一学生としてボランティアしかできないが、それでも全員が行えばかなりの力を発揮する。今必要なのはマンパワー。よってできるだけ多くの学生がボランティアすべきだと考える」「義捐金を送る」など、ボランティアや復興支援に関する記述や、「大学全体を通して節電に取り組む」「今後問題になるのは原発事故によるエネルギー政策の見直し。それを行えるのは将来に政界などを通じて影響力を持つ早大生である」など、節電やエネルギー政策に関する記述や、「勉学に励み今後の対策を考えられる人物になる」「次に大きな地震が起きた時に、落ち着いて対処できるようになりたい」など、未来に向かって行動することを記した回答がありました。

## 東日本大震災を経て震災時に本学に希望するサービスは？

「大学を速やかに避難場所として開放すること」など大学を避難施設として使用すること、「ボランティアの斡旋」「ボランティアを単位認定してほしい」などボランティアに関すること、「できるだけ家族と連絡を取りやすいシステムを作してほしい」「早くweb上に大学の対応を載せてほしい」など情報提供などに関すること、「万一今後起こるかもしれない大地震への対策をより一層推進して頂ければと思う」「建物の強度を上げる。備品の固定化」など今後の対策に関することなどがありました。

## 東日本大震災を経て感じたことは

「協力すること、助け合うことの持つ力の大きさを感じました」「震災で日本人は外国に誇れるくらい、思いやりの心や譲り合いの心を持っていることに気づきました。このような心があれば、絶対に復興していけると思いました」「娯楽などに興じているとき「自分はこんなことをしているのか」と自分の行動に対して頻りに疑問を感じていた」「大地震が身近に起こる可能性のあることを改めて実感し、実際に発生した場合にどのような行動をとるべきなのか、考えるようになった」など、今回の東日本大震災により自分なりに何かを感じ、深く考えていることがわかる回答が多くありました。

# 東日本大震災に関する意識調査 質問項目・単純集計結果

回答する選択肢の数の指定がない場合は、最も適切なものを1つ選んでください。

## 第1章：東日本大震災について

(101) 地震が起こったとき早稲田大学のキャンパス(寮などの施設を含む)にいましたか? N=2161 ( )内は実数

- いた 8.1% (176)
- いなかった 91.9% (1985)
- 無回答 0% (0)

(102) [101で「いた」と回答された方にお尋ねします]具体的にどここのキャンパスにいましたか?

N=176 ( )内は実数

- 早稲田キャンパス 30.1% (53)
- 西早稲田キャンパス 16.5% (29)
- 戸山キャンパス 33.5% (59)
- 喜久井町キャンパス 0.6% (1)
- 日本橋キャンパス 0.0% (0)
- 東伏見キャンパス 5.7% (10)
- 所沢キャンパス 4.0% (7)
- 本庄キャンパス 0.6% (1)
- 北九州キャンパス 0.0% (0)
- その他 6.8% (12)
- 無回答 2.3% (4)

(103) [102で「その他」と答えた方にお尋ねします]具体的にはどのような施設にいましたか? (記述回答)

(104) [101で「いた」と回答された方にお尋ねします]具体的にどここの施設にいましたか? N=176 ( )内は実数

- 教室 7.4% (13)
- 研究室 7.4% (13)
- 実験実習室 0.6% (1)
- 食堂(売店含む) 2.3% (4)
- ラウンジ 6.3% (11)
- 図書館(学生読書室含む) 11.4% (20)
- 自習室 1.1% (2)
- 体育館(グラウンド含む) 5.1% (9)
- 大隈講堂 5.1% (9)
- 国際会議場 0.0% (0)
- 学生会館 33.5% (59)
- その他 17.0% (30)
- 無回答 2.8% (5)

(105) [101で「いた」と回答された方にお尋ねします]避難誘導(放送)はありましたか? N=176 ( )内は実数

- あった 46.6% (82)
- なかった 36.4% (64)
- わからない 14.8% (26)
- 無回答 2.3% (4)

(106) [101で「いた」と回答された方にお尋ねします]どのように避難しましたか? N=176 ( )内は実数

- 係員の誘導に従った 42.0% (74)
- 自分の判断で避難した 37.5% (66)
- その場にとどまり、特に避難はしていない 11.9% (21)
- その他 4.5% (8)
- 無回答 4.0% (7)

(107) [106で「係員の誘導に従った」と回答された方にお尋ねします]誘導は適切でしたか? N=74 ( )内は実数

- 適切だった 71.6% (53)
- 適切ではなかった 6.8% (5)
- どちらとも言えない 20.3% (15)
- 無回答 1.4% (1)

(108) [107で「適切ではなかった」と回答された方にお尋ねします]その理由は何か? (記述回答)

(109) [101で「いなかった」と回答された方にお尋ねします]地震が起こった

ときどこにいましたか?

N=1985 ( )内は実数

- 青森県 0.1% (1)
- 秋田県 0.1% (1)
- 岩手県 0.2% (3)
- 宮城県 1.1% (22)
- 山形県 0.8% (15)
- 福島県 0.8% (16)
- 栃木県 0.9% (18)
- 茨城県 2.1% (42)
- 千葉県 8.6% (170)
- 長野県 1.0% (19)
- 新潟県 0.7% (14)
- 東京都 41.3% (819)
- 神奈川県 13.4% (265)
- 埼玉県 12.2% (242)
- それ以外(海外含む) 16.6% (330)
- 無回答 0.4% (8)

(110) 地震が起こったとき何をしていたか? N=1831 ( )内は実数

- 早稲田大学の施設を利用していた 7.6% (140)
- 自宅で過ごしていた 45.5% (834)
- 移動中だった 11.0% (202)
- アルバイト先にいた 5.3% (97)
- 帰省していた 0.9% (16)
- 旅行中だった 1.9% (34)
- 就職活動中だった 3.1% (57)
- 課外活動をしていた 4.2% (77)
- 海岸に近い場所で過ごしていた 1.8% (33)
- その他 18.0% (330)
- 無回答 0.6% (11)

(111) 地震が起こった時に何を考えましたか? N=1831 ( )内は実数

- 自分がいる建物が倒壊すると思った 19.3% (353)
- 生命の危機を感じた 21.7% (398)
- 家族・友人の安否を思った 34.6% (634)
- 火災が発生するかと思った 1.5% (27)
- 津波が来ると思った 1.1% (21)
- その他 21.0% (385)
- 無回答 0.7% (13)

(112) 地震が起こった時にとっさに何をしましたか? (複数回答可)

N=3073 ( )内は実数

- その場にじっとして様子をみていた 23.9% (735)
- 机やテーブルの下にもぐった 14.5% (446)
- 家具などが倒れないようにおさえた 9.3% (285)
- 頑丈なものにつかまった 7.7% (238)
- 周りの人の安全を気づかう行動をした 10.1% (310)
- 火の始末をした 2.9% (89)
- それまでやっていたことをそのまま続けた 4.1% (126)
- その場が危険だと思い急いで離れた 9.3% (286)
- 非常用食料、飲料水等の「防災グッズ」を取ろうとした 0.6% (18)
- 屋外へ避難した 12.0% (369)
- その他 5.2% (160)
- 無回答 0.4% (11)

(113) 地震の揺れがおさまった直後、どのような行動をとりましたか? (複数回答可) N=3429 ( )内は実数

- 家族、自宅に連絡をしようとした 33.9% (1161)
- 身の回りの貴重品(現金/預金通帳/保険証書など)を集めた 6.0% (205)
- インターネットやラジオ、TVを使用して情報収集した 34.8% (1192)
- 非常用食料、飲料水等の「防災グッズ」を確保した 4.8% (164)

- 公的な避難場所へ行った 6.5% (224)
- それまでやっていたことをそのまま続けた 9.4% (324)
- その他 4.5% (155)
- 無回答 0.1% (4)

(114) [113で「公的な避難場所へ行った」と回答された方にお尋ねします]その理由をお答えください。

N=224 ( )内は実数

- 自治体等に指定されていた場所だから 9.8% (22)
- その場所が安全だと自分で判断したから 31.3% (70)
- 周りの人々がそこに向かっていたら 15.2% (34)
- 係員等に誘導されたから 42.9% (96)
- 無回答 0.9% (2)

(115) 地震発生時、早稲田大学の施設にいた人に質問です。地震の揺れがおさまった後、帰宅することはできましたか? N=176 ( )内は実数

- 徒歩で帰宅した 23.3% (41)
- 自転車で帰宅した 6.3% (11)
- 交通機関等を利用して何とか帰宅した 10.2% (18)
- 家族、友人に迎えにきてもらい帰宅した 3.4% (6)
- 途中で帰宅を試みたが結局帰宅できなかった 16.5% (29)
- 最初から帰宅することはあきらめた 34.7% (61)
- その他 2.3% (4)
- 無回答 3.4% (6)

(116) [115で「～帰宅した」と回答された方にお尋ねします]帰宅までにはどれくらいの時間がかかりましたか?

N=80 ( )内は実数

- 1時間未満 35.0% (28)
- 1～2時間 10.0% (8)
- 2～3時間 20.0% (16)
- 3～4時間 8.8% (7)
- それ以上 20.0% (16)
- 無回答 6.3% (5)

(117) [115で「～帰宅した」と回答された方にお尋ねします]帰宅までに要した時間は自分の想定は何倍ほどかかりましたか? N=80 ( )内は実数

- 1倍未満(想定より早く) 10.0% (8)
- 1倍(想定通り) 46.3% (37)
- 2倍程度 21.3% (17)
- 3倍程度 8.8% (7)
- 4倍程度 1.3% (1)
- 5倍程度 0.0% (0)
- それ以上 7.5% (6)
- 無回答 5.0% (4)

(118) [115で「途中で帰宅を試みたが結局帰宅できなかった」「最初から帰宅することはあきらめた」と回答された方にお尋ねします]どのような施設で過ごされましたか? N=90 ( )内は実数

- 大隈講堂など早稲田大学の施設 33.3% (30)
- 友人宅 44.4% (40)
- 避難所として開放された施設 4.4% (4)
- インターネットカフェ 1.1% (1)
- 飲食店 1.1% (1)
- 駅 1.1% (1)
- その他 5.6% (5)
- 無回答 8.9% (8)

(119) 地震の揺れがおさまった直後、情報を収集する際、情報源としたものは何ですか? (複数回答可)

N=4403 ( )内は実数

- ラジオ 8.1% (356)
- 携帯電話 25.0% (1099)
- テレビ 28.2% (1240)
- Web(PC) 13.3% (584)
- ブログ 1.2% (54)
- ツイッター 11.6% (509)
- スカイプ 1.3% (57)
- 避難場所や市区町村役所/役場からの情報 3.1% (136)
- 周囲の人からの口コミ 6.7% (297)
- その他 1.4% (60)
- 無回答 0.2% (11)

(120) 震災情報に関するチェーンメールを受け取りましたか?

N=1831 ( )内は実数

- 受け取らなかった 56.6% (1037)
- 受け取って転送した 3.6% (66)
- 受け取ったが無視した 38.6% (707)
- 無回答 1.1% (21)

(121) 地震の揺れがおさまった直後、どのような情報を知りたいと思いましたか? (複数回答可)

N=7653 ( )内は実数

- 地震の規模や発生場所について 20.5% (1569)
- 津波の状況について 8.0% (613)
- 余震の今後の見通しについて 11.8% (901)
- 地震による全体の被害について 14.2% (1087)
- 家族、友人の安否について 17.0% (1303)
- 火災の状況について 3.3% (254)
- 列車の運行状況や道路の開通状況 14.4% (1104)
- 食料や生活物資の状況 5.3% (404)
- どこに避難するのがよいか 4.6% (353)
- 知りたい情報はなかった 0.2% (15)
- その他 0.6% (44)
- 無回答 0.1% (6)

## 第2章：震災に対する備えについて

(201) このたびの東日本大震災が発生する前、震災対策として何か準備をしていましたか? N=1831 ( )内は実数

- していた 28.3% (519)
- していなかった 71.3% (1306)
- 無回答 0.3% (6)

(202) [201で「していた」と回答された方にお尋ねします]震災対策として何をしていましたか? (複数回答可)

N=1147 ( )内は実数

- 避難場所の確認(早稲田大学付近および自宅周辺等) 15.6% (179)
- 家族との連絡方法および待ち合せ場所の確認 13.6% (156)
- 災害伝言サービスの確認と登録(メール宛先等の事前登録が必要) 5.2% (60)
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認 5.8% (66)
- 緊急時メモの作成・記入 0.9% (10)
- 自宅家具等の転倒防止対策 24.1% (276)
- 非常用食料、飲料水等の「防災グッズ」の準備 32.6% (374)
- 早稲田大学および友人等への連絡方法の確認およびリスト整備 0.4% (5)
- その他 1.4% (16)
- 無回答 0.4% (5)

(203) このたびの東日本大震災を経験し、震災対策として何かしようと考えましたか、もしくは何かしましたか?

N=1831 ( )内は実数

- しようと考えている、すでにしている 76.4% (1398)
- していない 21.1% (386)
- 無回答 2.6% (47)

(204) [203で「しようと考えている、すでにしている」と回答された方にお尋ねします]このたびの東日本大震災を経験し、震災対策として何をしようと考えましたか、もしくは何をしましたか? (複数回答可)

N=3918 ( )内は実数

- 避難場所の確認 (早稲田大学付近および自宅周辺等) 16.6% (650)
- 家族との連絡方法および待ち合せ場所の確認 19.2% (754)
- 災害伝言サービスの確認と登録 (メール宛先等の事前登録が必要) 10.2% (398)
- 帰宅ルートおよび所要時間の確認 9.5% (371)
- 緊急時メモの作成・記入 3.1% (122)
- 自宅家具等の転倒防止対策 12.3% (482)
- 非常用食料、飲料水等の「防災グッズ」の準備 25.2% (987)
- 早稲田大学および友人等への連絡方法の確認およびリスト整備 2.5% (98)
- その他 1.3% (50)
- 無回答 0.2% (6)

(205) [204で「非常用食料、飲料水等の「防災グッズ」の準備」と答えた方にお尋ねします]「防災グッズ」として何を準備しようと考えていますか? (複数回答可) N=6772 ( )内は実数

- 懐中電灯 12.9% (874)
- 水 12.9% (872)
- 食料等 (インスタント食品/缶詰/缶ざり) 12.5% (844)
- ラジオ 9.7% (654)
- 医薬品/救急セット 7.0% (474)
- タオル 5.6% (381)
- ライター 2.6% (174)
- 手袋 2.6% (179)
- ろうそく 3.7% (250)
- 靴/スリッパ 3.6% (244)
- ナイフ 1.6% (105)
- 衣類寝袋/毛布 4.1% (289)
- 雨具 4.0% (269)
- 携帯トイレ 2.8% (192)
- ヘルメット/防災ずきん 2.4% (162)
- 電池 9.9% (671)
- オムツ 0.3% (21)
- その他 1.8% (121)
- 無回答 0.1% (5)

(206) [203で「していない」と答えた方にお尋ねします]その理由は何ですか? N=386 ( )内は実数

- 何を準備していいかわからないから 32.1% (124)
- 準備が面倒だから 16.6% (64)
- 準備しなくても何とかなんと思っているから 28.5% (110)
- 準備に費用がかかるから 3.6% (14)
- 自分の地域では震災が発生しないと思っているから 2.1% (8)
- その他 15.8% (61)
- 無回答 1.3% (5)

(207) 早稲田大学が取り組んでいる防災対策について、お尋ねします。次の取り組みのなかで知っていることはなんですか? (複数回答可) N=2784 ( )内は実数

- 大地震対応マニュアルの作成 36.1% (1004)

- 防災倉庫の設置 8.6% (240)
- 災害用井戸の設置 1.8% (51)
- 各キャンパスごとの避難場所の指定 28.5% (794)
- 防災訓練の実施 5.2% (146)
- 学生災害ボランティア組織「早稲田災害対策学生チーム」(早稲田レスキュー)の活動 5.3% (147)
- その他 2.9% (80)
- 無回答 11.6% (322)

(208) 早稲田大学が発行する名刺サイズの「大地震対応マニュアル」についてお伺いします。「大地震対応マニュアル」を読みましたか? N=1831 ( )内は実数

- 熟読した 4.2% (76)
- 流し読みした 29.7% (544)
- もらったが読んでいない 9.0% (165)
- もっていない 23.3% (427)
- 知らない 32.8% (601)
- 無回答 1.0% (18)

### 第3章：災害に関する心理について

(301) 大きな災害が発生した際、心配なことはなんですか? (複数回答可) N=13512 ( )内は実数

- 家族の安否 14.3% (1937)
- 水道や電気などライフラインの確保 11.2% (1511)
- 食料品の確保 9.9% (1334)
- 家屋の倒壊/損傷 9.8% (1321)
- 火災の発生 6.1% (827)
- 生活用品の確保 6.7% (899)
- 通信手段が遮断/連絡が取れない 11.1% (1505)
- 治安の悪化 2.9% (395)
- 避難場所の確保 4.1% (553)
- 交通機関の麻痺 9.7% (1305)
- 帰宅困難になる 7.6% (1029)
- 災害情報の入手 6.1% (822)
- その他 0.5% (74)
- 無回答 0.0% (0)

(302) 大きな災害が発生した際、あなたが決めている家族との具体的な連絡手段は何ですか? (複数回答可) N=3683 ( )内は実数

- 携帯電話の災害伝言ダイヤル 23.2% (853)
- Webサービスの災害伝言板 7.4% (271)
- ツイッター 4.0% (148)
- ブログ 0.8% (31)
- スカイプ 2.3% (86)
- 避難場所を決めて集合する 12.2% (450)
- 固定電話の災害伝言ダイヤル 5.2% (192)
- 災害伝言板や災害伝言ダイヤル以外の電話やメール、Webサービス 7.0% (259)
- 自宅に集合する 8.8% (323)
- 親戚へ電話で連絡しあう 7.4% (273)
- 具体的に決めていない 20.6% (758)
- その他 1.1% (39)
- 無回答 0.0% (0)

(303) 東日本大震災を経て、心身に変化はあったでしょうか? (複数回答可) N=3836 ( )内は実数

- 気分が沈みがち、抑うつになる 10.6% (405)
- 眠りが浅くなる、途中で目が覚める 5.9% (226)
- 身体の不調を感じる 4.2% (163)
- 家にこもっていることが多い 11.5% (442)
- 勉強や家事などに以前のように集中できなくなる 6.6% (255)
- 漠然とした不安感があって気分が重苦しい 15.6% (599)

- 地震や災害以外のことにも不安感や恐怖感が引き起こされるようになる 4.9% (187)
- 地震が起こっていないのに揺れているような気がする 36.6% (1404)
- 無回答 4.0% (155)

(304) 東日本大震災を経て、今不安に思うことは何ですか? (複数回答可) N=5672 ( )内は実数

- 授業日程や、授業期間が短縮された際の授業の質や量 16.8% (955)
- サークルや課外活動 4.6% (262)
- 就職活動 11.0% (624)
- 早稲田大学の施設の耐震強度 10.2% (577)
- 金銭関係 5.5% (310)
- 原子力発電所関係の状況または情報 26.1% (1481)
- 余震の状況 18.8% (1065)
- 津波の情報 4.0% (229)
- その他 3.0% (169)
- 無回答 0.0% (0)

(305) [304で「その他」と答えた方にお尋ねします]具体的にはどのようなことを不安に思いますか? (記述回答)

### 第4章：東日本大震災に関するボランティア活動や節電について

(401) 東日本大震災に関するボランティア活動に関心がありますか? N=2161 ( )内は実数

- ある 67.1% (1449)
- ない 32.9% (712)
- 無回答 0.0% (0)

(402) [401で「ある」と答えた方にお尋ねします]東日本大震災に関するボランティア活動を行いましたか、もしくは今後行う予定はありますか? N=1449 ( )内は実数

- 被災地にてボランティア活動を行った 5.0% (72)
- 被災地ではない場所でボランティア活動を行った 6.3% (91)
- 被災地にてボランティア活動を行う予定である 6.6% (96)
- 被災地ではない場所でボランティア活動を行う予定である 11.4% (165)
- ボランティア活動を行う予定はない 70.3% (1018)
- 無回答 0.5% (7)

(403) 今後、東日本大震災関連で参加してみたいボランティア活動があれば具体的にご記入ください。(記述回答)

(404) 東日本大震災に関する募金についてお尋ねします。募金をしましたか? N=2161 ( )内は実数

- した 69.7% (1506)
- する予定である 5.6% (121)
- していない 24.7% (534)
- 無回答 0.0% (0)

(405) [404で「した」「する予定である」と答えた方にお尋ねします]募金は今回が初めてですか? N=1627 ( )内は実数

- はい (今回が初めて) 21.5% (349)
- いいえ (過去にもある) 75.7% (1232)
- 無回答 2.8% (46)

(406) [404で「した」「する予定である」と答えた方にお尋ねします]その金額はいくらぐらいですか? N=1627 ( )内は実数

- 1,000円未満 46.2% (752)

- 1,000円以上5,000円未満 34.0% (553)
- 5,000円以上10,000円未満 6.8% (111)
- 10,000円以上 5.8% (94)
- 答えたくない 5.5% (89)
- 無回答 1.7% (28)

(407) 節電対策についてお尋ねします。今取り組んでいる節電対策はありますか? (複数回答可) N=4575 ( )内は実数

- 使用していないコンセントは抜いておく 28.1% (1286)
- エアコンの設定温度や風向きを調節する 17.6% (805)
- 冷蔵庫の設定温度をいつもより上げる 3.8% (176)
- 使わない照明は切っておく 41.4% (1896)
- 早寝、早起きを心がけ電力消費のピークタイムをずらす 4.7% (217)
- 特に取り組むつもりはない 2.5% (113)
- その他 1.8% (82)
- 無回答 0.0% (0)

(408) [407で「その他」と答えた方にお尋ねします]具体的にはどのようなことをしていますか? (記述回答)

### 第5章：その他

(501) 課外活動やサークル活動で通常であれば行っている、もしくは行う予定の活動を自粛するような雰囲気はありましたか? N=2161 ( )内は実数

- 実際に中止した活動がある。 39.8% (860)
- そのような雰囲気はあったが具体的に中止にした活動はない 17.7% (382)
- そのような雰囲気はなかった 29.9% (647)
- 無回答 12.6% (272)

(502) [501で「実際に中止した活動がある」と答えた方にお尋ねします]具体的に中止した活動はどのようなものですか? (記述回答)

(503) 地震発生時の避難指示等、東日本大震災発生当日の大学の教職員の対応について感じたことをご自由にご記入ください。(記述回答)

(504) 東日本大震災を経て早大生として何かすべきだと考えていますか? (記述回答)

(505) 東日本大震災を経て震災時に本学に希望するサービスがございましたらご自由にご記入ください。(記述回答)

(506) 東日本大震災を経て感じたことなどをご自由にご記入ください。(記述回答)